



2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月14日

japan elevator service



ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

(東証マザーズ : 6544)

1

2018年3月期 第2四半期決算概要

2

2018年3月期 通期業績予想

3

JES Innovation Center (JIC) の効果



**2018年3月期
第2四半期決算概要**

2018年3月期第2四半期決算概要(業績)

売上高は前年比114.3%と過去最高を更新
 営業利益は、生産性向上に伴う人件費等の抑制への取り組みが奏功したことに加え、
 故障率の低減による材料費の減少等一連のコスト削減の結果、前期を大きく上回る水準で着地

(百万円)

	2017年3月期 2Q		2018年3月期 2Q		前期比 (%)	業績予想 (8月7日公表分)
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)		
売上高	6,200	100.0	7,083	100.0	114.3	7,020
原価	4,305	69.4	4,647	65.6	108.0	—
売上総利益	1,895	30.6	2,436	34.4	128.6	—
販管費	1,891	30.5	1,905	26.9	100.7	—
営業利益	3	0.1	531	7.5	—	450
営業外収益	13	0.2	19	0.3	140.6	—
営業外費用	20	0.3	20	0.3	96.3	—
経常利益	△3	△0.1	530	7.5	—	440
特別利益	0	0.0	1	0.0	335.8	—
特別損失	1	0.0	3	0.1	215.7	—
税金等調整前四半期純利益	△5	△0.1	528	7.5	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1	△0.0	344	4.9	—	260

2018年3月期第2四半期決算概要(売上種類別)

保守・保全業務は前年比110.6%、契約台数も順調に増加中(上期中に2,700台増)
リニューアル業務は営業体制の刷新、事業拡大を見据えた増員が奏功し、前年比136.1%を達成

(百万円)

	2017年3月期 2Q		2018年3月期 2Q		前期比 (%)
	金額	構成比(%)	実績	構成比(%)	
保守・保全業務	5,283	85.2	5,843	82.5	110.6
リニューアル業務	902	14.6	1,228	17.3	136.1
その他	14	0.2	12	0.2	87.8
合計	6,200	100.0	7,083	100.0	114.3

2018年3月期第2四半期決算概要(B/S)

有形固定資産は、JES Innovation Centerの建設に向け増加
負債・純資産は、建設資金の借入及び業績好調による利益の積み増しにより増加

(百万円)

	2017年3月期 2Q		2017年3月期末		2018年3月期 2Q		前期末比 (%)
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	
流動資産	3,901	62.2	4,592	58.5	4,433	51.3	96.5
現金及び預金	683	10.9	1,140	14.5	949	11.0	83.3
受取手形及び 売掛金	1,520	24.2	1,721	21.9	1,760	20.4	102.3
有形固定資産	1,375	21.9	2,311	29.5	3,152	36.4	136.4
無形固定資産	87	1.4	141	1.8	219	2.5	155.3
投資その他の資産	910	14.5	802	10.2	845	9.8	105.3
固定資産	2,372	37.8	3,255	41.5	4,217	48.8	129.5
資産合計	6,274	100.0	7,848	100.0	8,650	100.0	110.2
流動負債	3,729	59.4	4,108	52.3	5,275	61.0	128.4
固定負債	1,811	28.9	1,668	21.3	1,019	11.8	61.1
負債合計	5,541	88.3	5,776	73.6	6,294	72.8	109.0
純資産合計	733	11.7	2,072	26.4	2,355	27.2	113.7
負債・純資産合計	6,274	100.0	7,848	100.0	8,650	100.0	110.2



2018年3月期 通期業績予想

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも過去最高

単 位 : 百万円, %	上期				下期				通期			
	2017/3	2018/3 予想	2018/3 実績		2017/3	2018/3 前回予想	2018/3 修正予想		2017/3	2018/3 前回予想	2018/3 修正予想	
	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前期比
売上高	6,200	7,020	7,083	114.3	7,343	7,980	8,067	109.8	13,544	15,000	15,150	111.9
営業利益	3	450	531	-	607	670	699	115.0	611	1,120	1,230	201.3
経常利益	△3	440	530	-	530	660	670	126.1	527	1,100	1,200	227.6
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△1	260	344	-	273	340	356	129.6	271	600	700	257.4
	売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比	
売上総利益率	30.6	33.8	34.4		33.9	33.7	33.6		32.3	33.8	34.0	
販売管理費率	30.5	27.3	26.9		25.6	25.3	24.9		27.8	26.3	25.8	
営業利益率	0.1	6.4	7.5		8.3	8.4	8.7		4.5	7.5	8.1	
経常利益率	△0.1	6.3	7.5		7.2	8.3	8.3		3.9	7.3	7.9	
当期純利益率	△0.0	3.7	4.9		3.7	4.3	4.4		2.0	4.0	4.6	

2018年3月期通期業績予想(売上種別)

保守・保全業務は前年比108.4%の見込
 リニューアル業務は堅調な需要に支えられ前年比127.3%の見込

単位：百万円,%	上期			下期			通期		
	2017/3期	2018/3期実績		2017/3期	2018/3期予想		2017/3期	2018/3期予想	
	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前期比
保守・保全業務	5,283	5,843	110.6	5,686	6,044	106.3	10,969	11,887	108.4
リニューアル業務	902	1,228	136.1	1,642	2,010	122.4	2,544	3,238	127.3
その他	14	12	87.8	15	12	79.1	29	25	83.2
合計	6,200	7,083	114.3	7,343	8,067	109.8	13,544	15,150	111.9

配当予想を修正し、1株当たり期末配当を前期8円から当期11円へ増配
 1対2の株式分割を考慮すると、前期8円から当期22円と、実質14円の増配
 配当総額は2.2億円となり、配当性向は予想純利益7億円の30%を超える水準を予定

	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	前期同期比
	実績	実績	予定	
年間配当額	4円70銭	8円00銭	11円00銭 (22円00銭)	+3円00銭 (+14円00銭)
中間配当額	0円00銭	0円00銭	0円00銭	±0円00銭
期末配当額	4円70銭	8円00銭	11円00銭 (22円00銭)	+3円00銭 (+14円00銭)
配当金総額	37百万円	80百万円	220百万円	+140百万円
配当性向（連結）	9.3%	23.6%	31.5%	+7.9p
純資産配当率（連結）	6.4%	5.2%	8.4%	+3.2p

1：2の株式分割（2017年10月1日効力発生）

※（）は、株式分割（1：2）を考慮しない場合の配当額となります。



JES Innovation Center(JIC)の効果

独立系エレベーター・メンテナンス会社初の
高層テストタワーを持つ総合技術研究センター

敷地面積:4,923.61㎡

延床面積:5,608.73㎡

2017年10月13日 竣工(埼玉県和光市)

1.リニューアル事業の強化

(1)リニューアルマーケット規模(当社推計)

1997年(20年前)以前製造エレベーター 約60万台 (A)

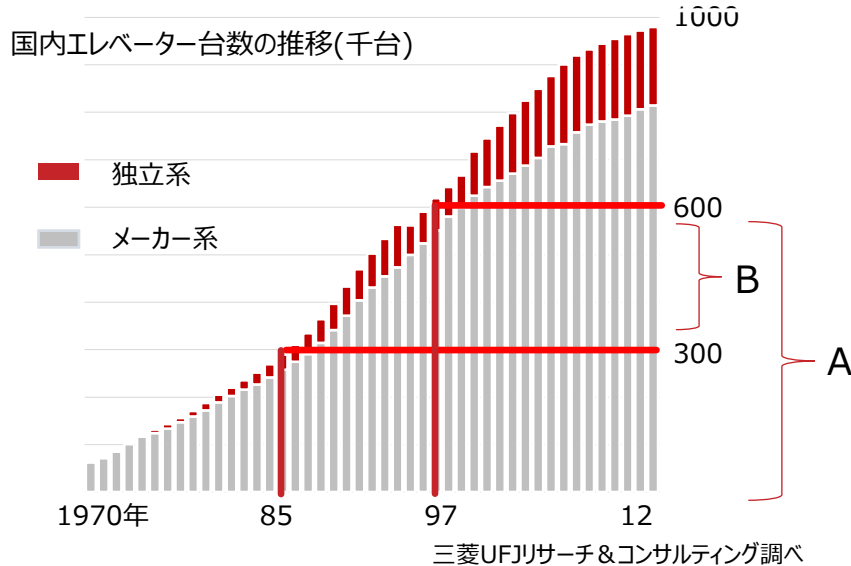
内.当面のリニューアル対象エレベーター 約40~50万台(※)

内.1985年~1997年製造分 約30万台 (B)

(主にインバータ制御付)

(B)は後述の分割リニューアルの主カマーケットになる見込み

(※)当社保守エレベーターから推計



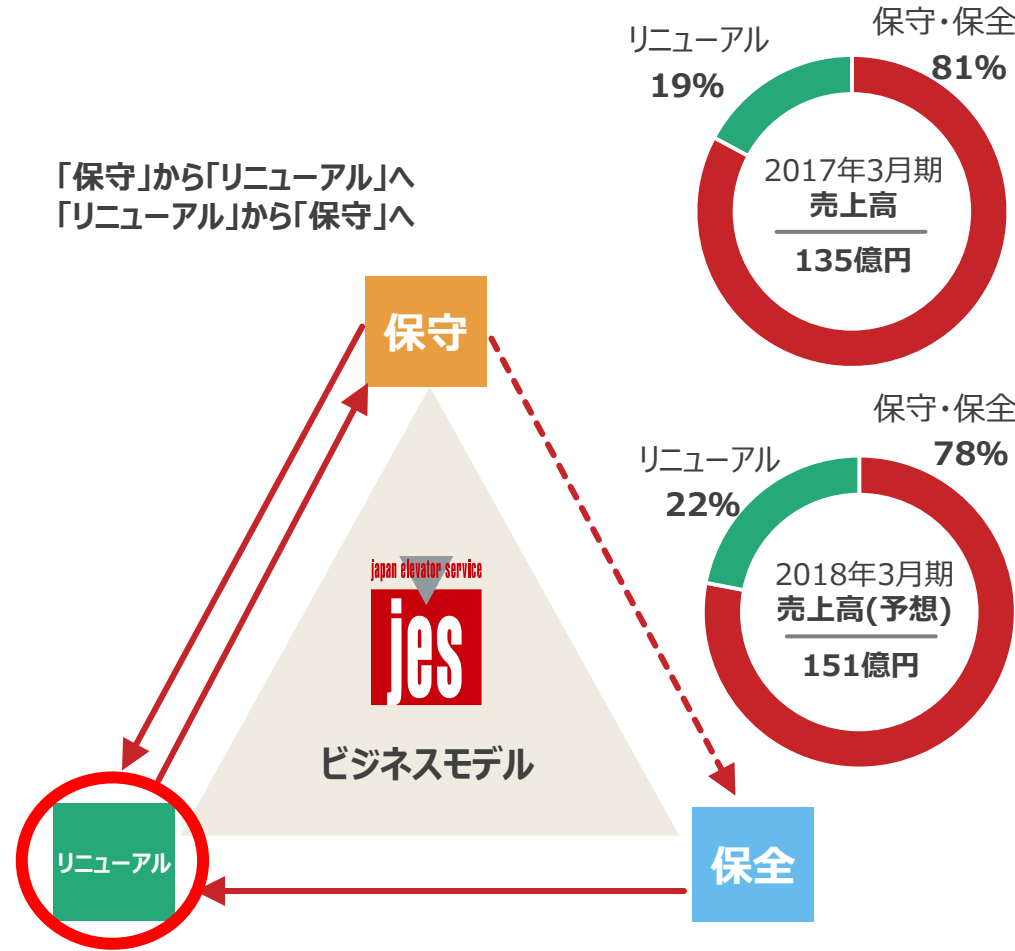
(参考)

- 法定償却耐用年数 17年
- 主要装置平均耐用年数 20年
- 計画耐用年数 25年
- メーカーによる「部品供給停止」年数 約20~25年

(2)リニューアル事業強化の目的

- 最終的に「保守」拡大に繋がるビジネスサイクルの強化
- リニューアル事業強化による大幅な売上増

「保守」から「リニューアル」へ
「リニューアル」から「保守」へ



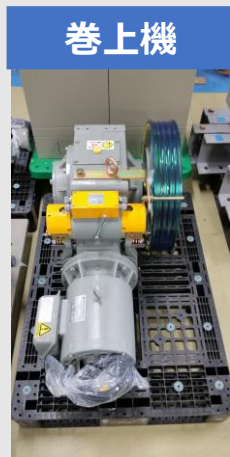
一括リニューアル

制御盤



+

巻上機



OEM対応

その他

操作盤

天井LED照明



分割リニューアル

制御盤



自社開発

[独立系では当社のみ]

JICで研究
開発強化

[対応機種を増やす]

(3)一括リニューアルへの対応強化

JIC完成により一括リニューアル向の制御盤と巻上機の制御チューニング作業の効率化が図られ、従来、50台/月ペースであったものが100台/月ペースと、能力が2倍増



(4)分割リニューアルへの対応強化

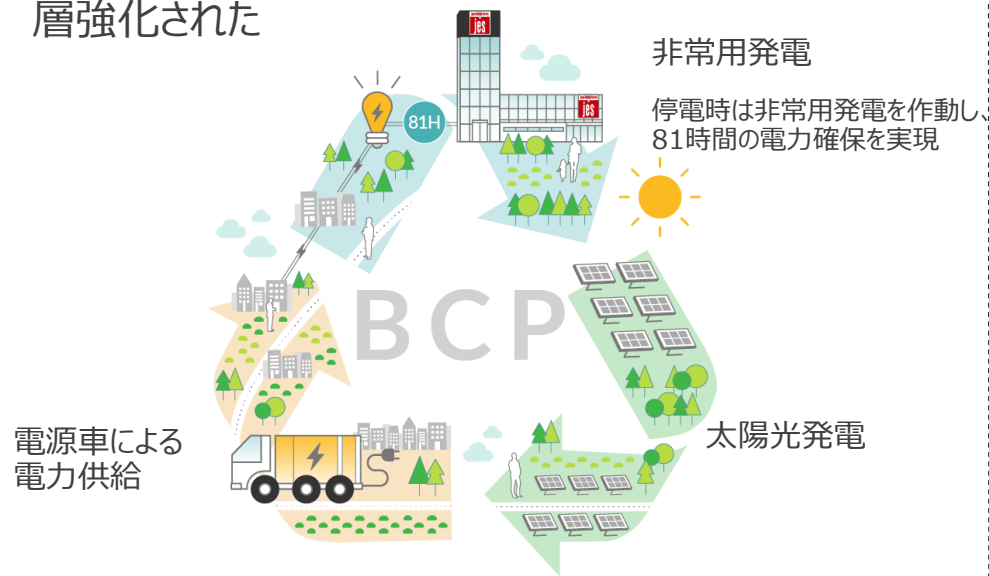
JIC完成により1985年以降、急速に普及したインバータ制御方式の巻上機に対応する新制御盤の開発スピードが加速。今後、リニューアルにおいて主流になっていくと考えられる分割リニューアルへの対応力を強化

→新制御盤は独立系では当社のみが開発中

	一括リニューアル	分割リニューアル
	(制御盤と巻上機の一括交換)	(制御盤のみの交換)
エレベーター停止期間	約1週間前後	約0.5日
費用面	一度に交換される為1回に掛かる費用負担大	一括に比べ1回に掛かる費用負担少
技術面	特に問題点無し	インバータ付き新制御盤と1985年以降製造の古い巻上機のモーターとの調整が課題 当社はJICを研究開発拠点として早急に対応機種を増やしていく予定
今後の需要	当面大きな変化無し	現在、メーカー各社は自社の一部機種のみ分割リニューアルが可能だが、今後対応機種を増やしていくと考えられる 今後急速に需要が拡大する見込

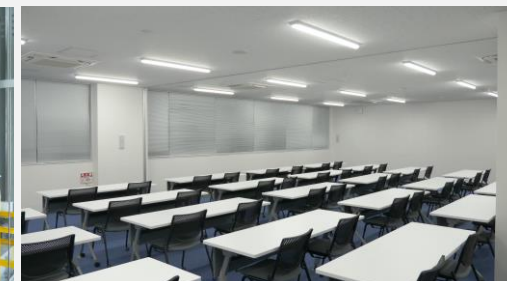
2. BCP(事業継続計画)強化

JICに非常用発電、太陽光発電、電源車による電力供給(81時間)が可能となったことでコントロールセンター等のBCP(事業継続計画)が一層強化された



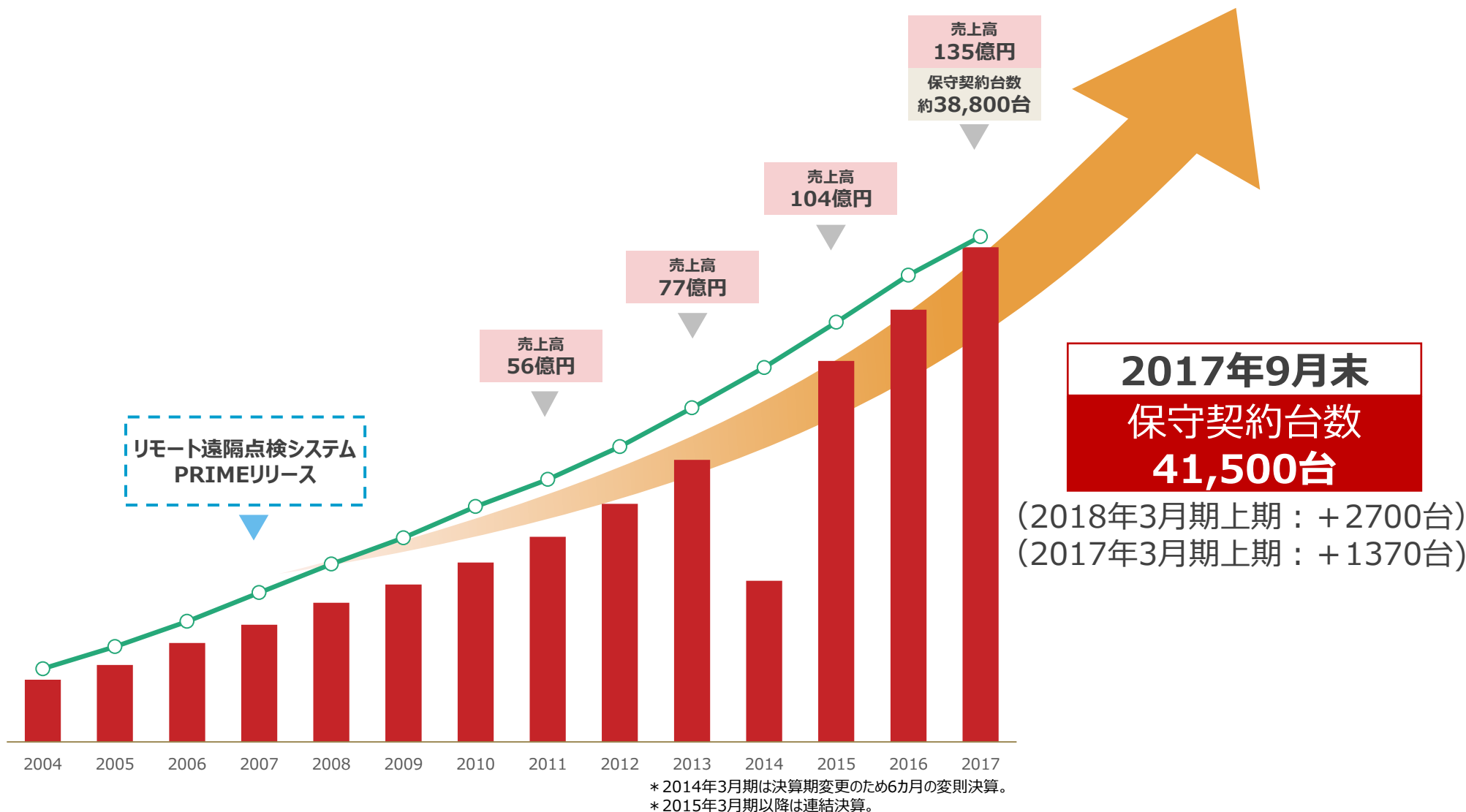
3. 研修・教育の強化

テストタワーを使用した実地研修の強化や大教室での一斉研修を通じ、当社独自の教育システムである「ステップ24」の質的向上が見込まれる





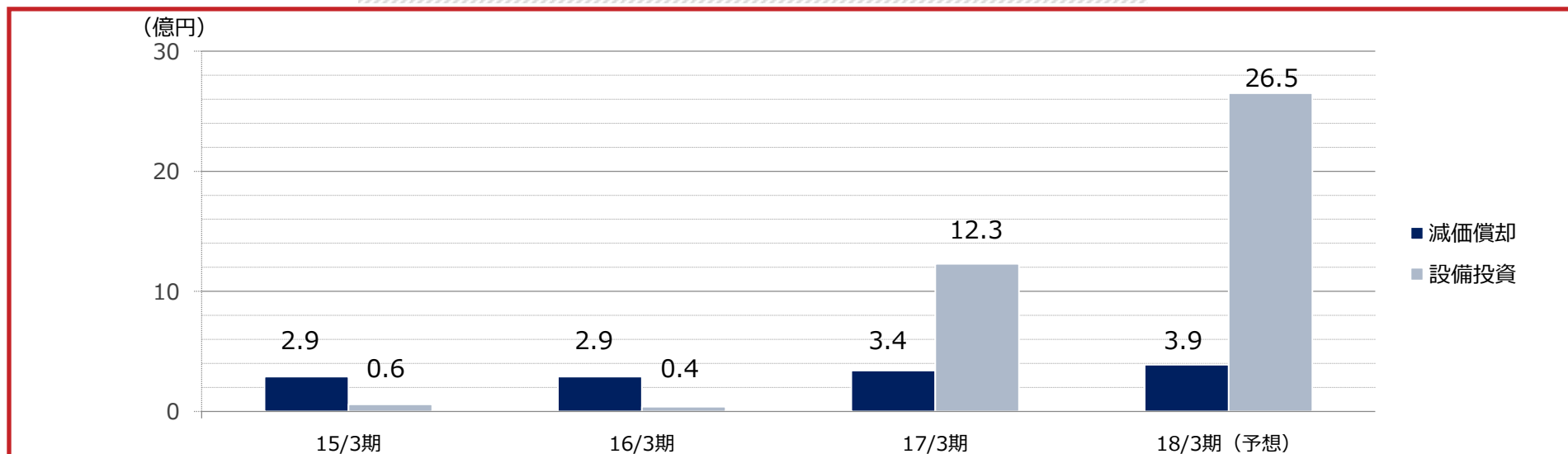
参考資料



	2017年3月期	2018年3月期 (予想)			
減 価 償 却	3.4億円	3.9億円			
設 備 投 資	12.3億円	26.5億円			
<table border="1"> <tr> <td>主な内容</td> <td>JIC (※) 関連</td> <td>JIC (※) 関連</td> </tr> </table>	主な内容	JIC (※) 関連	JIC (※) 関連		
主な内容	JIC (※) 関連	JIC (※) 関連			

(※) JIC : JES Innovation Center

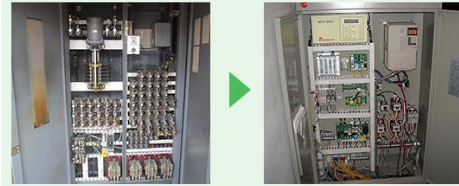
設備投資と減価償却費の推移



主たる交換部位

制御盤

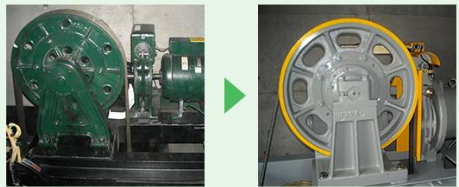
制御盤の交換により、
省エネと乗心地の向上!



制御ケーブル 操作盤

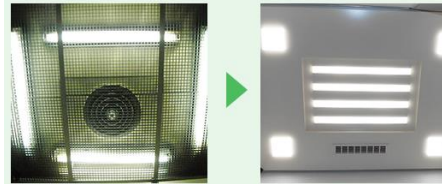
巻上機

金属疲労した巻上機交換により、
安全性能向上!

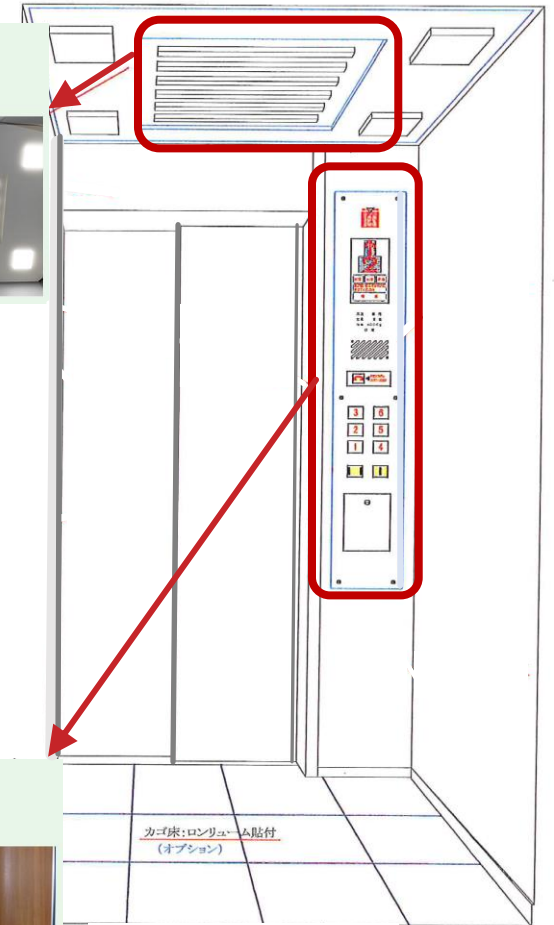


意匠リニューアル(例)

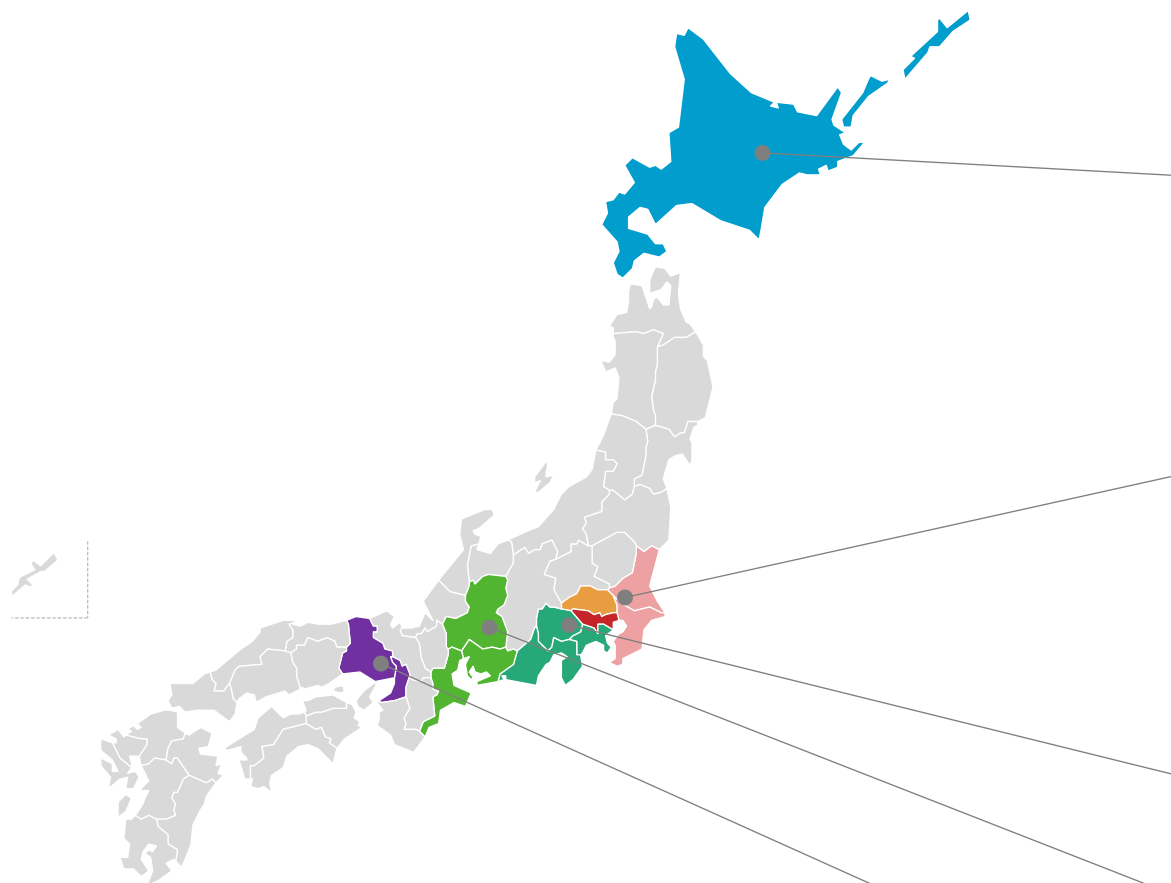
LEDリニューアルにて、明るく、
長寿命に、コスト削減!



操作盤リニューアルにより
見た目もスッキリ!



エレベーターカゴ内透視図



2017年11月1日時点
営業所数 69拠点

JES 北海道
営業所数：9拠点

JES HD
営業所数：2拠点

JES 城西
営業所数：13拠点

JES 城南
営業所数：14拠点

ジャパンエレベーターパーツ
営業所数：7拠点

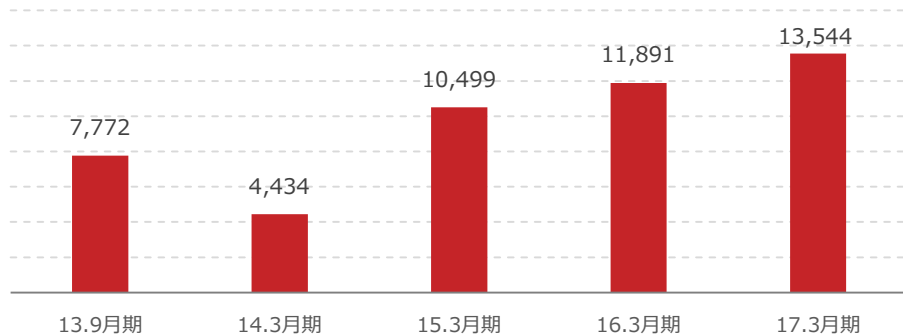
JES 神奈川
営業所数：17拠点

JES 東海
営業所数：4拠点

JES 関西
営業所数：3拠点

売上高

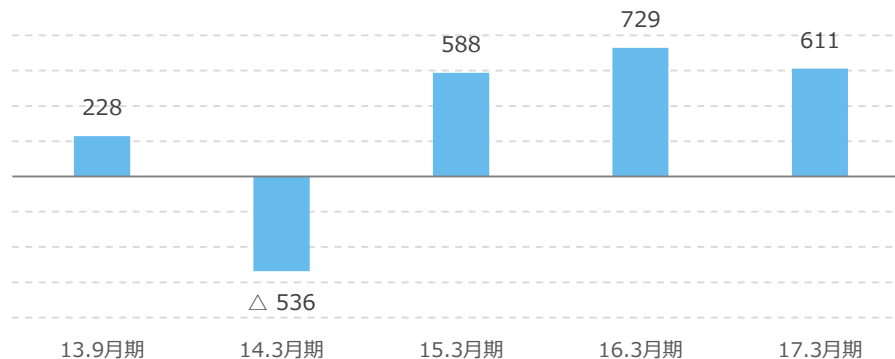
(百万円)



* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* 2015年3月期以降は連結決算。

営業利益

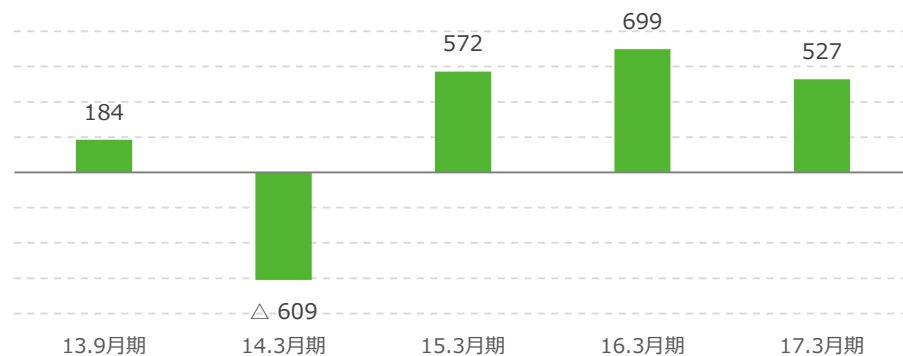
(百万円)



* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* 2015年3月期以降は連結決算。

経常利益

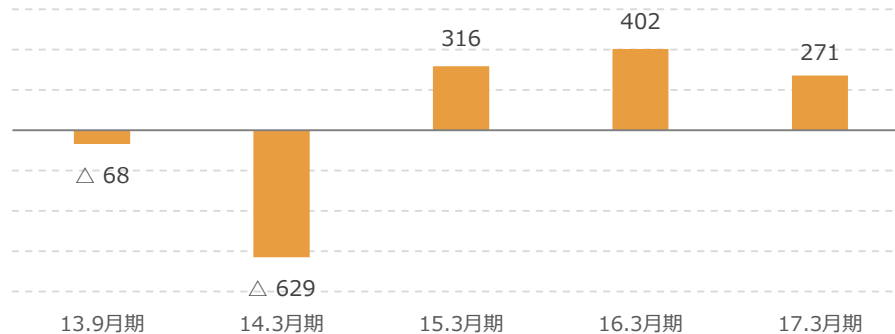
(百万円)



* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* 2015年3月期以降は連結決算。

親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



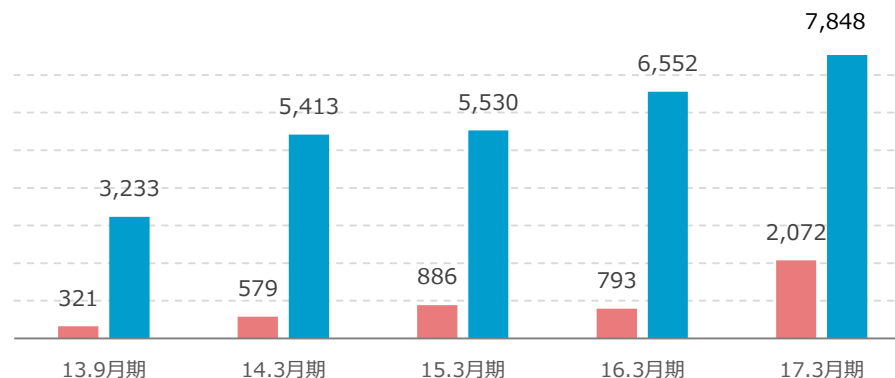
* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* 2015年3月期以降は連結決算。

純資産額／総資産額

(百万円)

■ 純資産額

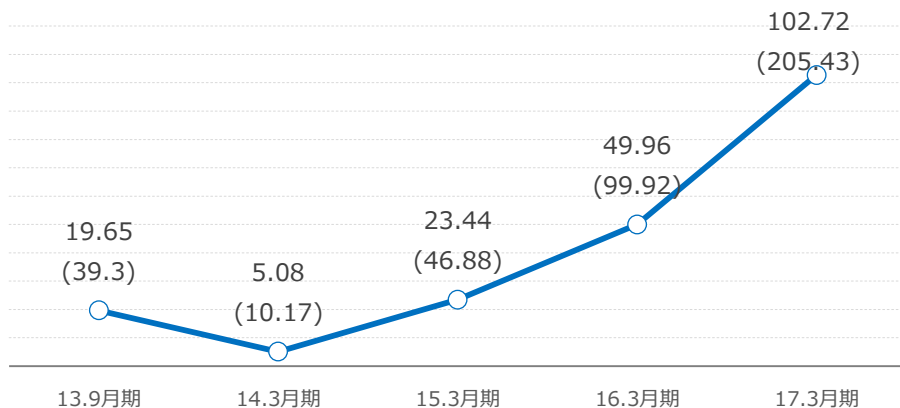
■ 総資産額



* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* 2015年3月期以降は連結決算。

1株当たり純資産額

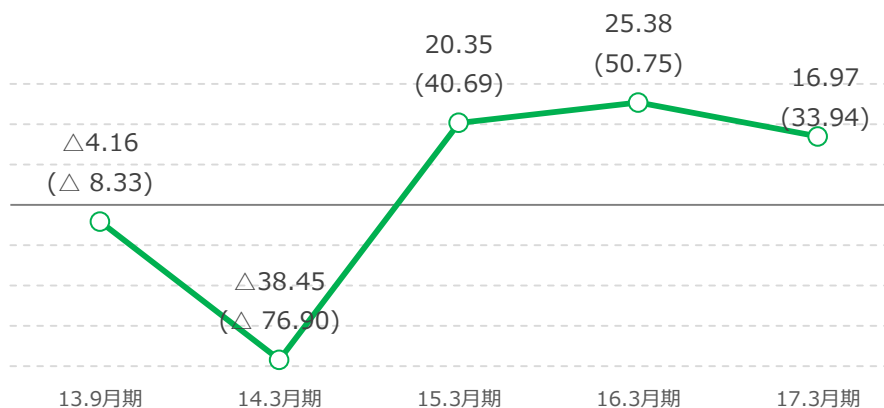
(円)



* 1：2の株式分割（2017年10月1日効力発生） * 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* () は、株式分割（1：2）を考慮しない場合。 * 2015年3月期以降は連結決算。

1株当たり当期純利益金額

(円)



* 1：2の株式分割（2017年10月1日効力発生） * 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* () は、株式分割（1：2）を考慮しない場合。 * 2015年3月期以降は連結決算。

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。